

3月給食たより

令和3年2月25日
品川区立東海中学校
栄養士 今井 聡美

冬の寒さがだんだんとゆるみ、日に日に春の訪れを感じますね。春と言えば、出会いと別れの季節です。今のクラスでの給食時間も、早いもので残り17回となりました。苦手な食べ物が出てくる機会もあったかと思いますが、皆さんが少しでもチャレンジして食べようと思ってもらえるような給食を心がけてきました。この1年を振り返って、楽しく、美味しく、マナーを守って食べることが出来ましたか？進学、進級先でも生かすことができるように振り返りをして、これからも「食べること」を大切にしてください。

3月3日はひな祭り

「ひな祭り」は女の子の成長や幸せを願う行事で「桃の節句」とも言います。元は草や紙で作った人形に、自分の身にふりかかった災いをうつし、それを川に流してお払いをしたことが始まりとも言われます。給食では3日に「五目寿司」を作ってお祝いをします

～ひな祭りにちなんだ食べ物について紹介します～

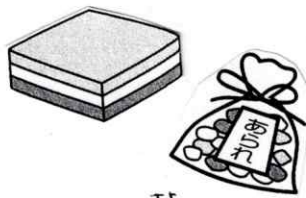


ちらし寿司



ちらし寿司の具材に使う海老は「腰が曲がるまで長生きできるように」、蓮根は穴が空いていることから「将来の見通しがきくように」という願いが込められています。

ひしもち・ひなあられ



赤は桃の花で「魔除け」、白は雪で「清らかさ」、緑は「大地」を表し、健康を願うとされています。また、この3色で春の到来を表すとも言われています。

うしお汁



はまぐりは、ペアになっていた貝以外とは合わないことから、理想の夫婦の象徴とされています。「良い相手に恵まれて幸せになるように」という親の願いが込められています。

9年生お別れ給食



18日は、9年生が東海中学校で食べる最後の給食です。食物アレルギーや宗教的な理由で食べることができない食材がある生徒でも、同じものを食べられるように「チキンカレー・茹で野菜ごまドレッシング・カルピス羹」を提供します。高校生になると、「クラス全員で同じ釜の飯を食べる」という機会がほとんどないと思います。最後に、先生や友だちと一緒に食べる喜びを味わってもらえたら嬉しく思います。

☆進級お祝い給食

24日は、7、8年生にとって3学期最後の給食になります。進級のお祝いに「赤飯」を炊き、主菜には「さわらの西京焼き」を作ります。赤飯がお祝いの席で食べられるようになった理由は、赤い色には邪気を払い、厄除けの力があると信じられていたからです。さわらは出世魚と呼ばれ、成長に伴って出世するようになると名前が変わる魚として知られています。給食室では皆さんの今後の活躍を願い、心を込めて作ります。